

令和6年第11回教育委員会議事録

開催日時 令和6年11月19日(火)
午前9時30分～午前11時00分

場所 八潮市役所 会議室3-4

出席者	教育長	井上正人
	教育長職務代理者	加藤正道
委員	木下史江	
委員	高橋洋一	
委員	橋本珠美	
事務局出席者	教育部長	千葉靖志
	教育部理事	猪原誠一
	教育部副部長	小林勝巳
	教育部参事兼文化財保護課長	
		高山治
	教育部副部長兼学務課長	山内修
	教育総務課長	松本啓介
	新設小学校準備室長	柳町貴栄
	新設小学校準備室主幹	古川剛
	社会教育課長	倉林昌也
	小中一貫教育指導課長	和田進
	教育総務課庶務課主事	篠崎美咲

○ 開会の言葉及びあいさつ 井上教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和6年第10回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議題

議案第50号 [説明者 松本教育総務課長]

令和6年度八潮市一般会計補正予算案の提出について

教育に関する事務に係る部分の歳入歳出補正予算案を八潮市長に要求することについて、議決を求める。

令和6年11月19日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提案理由 歳入歳出予算の不足を見込み、令和6年度八潮市一般会計補正予算案として八潮市長に要求するため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質疑]

○加藤教育長職務代理者

小学校管理事業と中学校管理事業の光熱水費の補正要求額がかなり大きいですが、電気料基本料金の単価高騰の他、体育館や教室でのエアコンの使用頻度が非常に多くなっているのでしょうか。また、学校開放の利用団体がエアコンを使用することがあると思いますが、将来的には使用料を徴収することも考えているのでしょうか。

●松本教育総務課長

夏の酷暑により、エアコンの使用電力が例年に比べて大きい状況が見受けら

れました。使用電力が増えると基本料金が上がるため、金額が大きくなつたということもあります。

また、体育館については順次エアコンを設置しており、残り4校という状況です。今年度設置した学校においても、試運転という形で夏から部分的に使用しており、それが反映された部分もあったものと考えています。

また、利用団体からの使用料の徴収については、現在検討を進めているところです。他市の状況等を踏まえ、より良い運用を検討していきたいと考えています。

○木下委員

歳入の教育情報機器動産総合保険金について、修理実績が20台のことでしたら、原因はどのようなものだったのでしょうか。

●松本教育総務課長

ほとんどが自然故障ではなく、児童生徒が落としてしまったこと等による物理的な破損です。

端末は購入したものとリースしているものがあり、リースしているものについてはリース会社が加入する保険が適用されます。原則として、端末の現在の価値に対して保険金が支払われる制度で、今回は20台分の支払いがあったものです。全体の修理実績が20台ということではありません。

○木下委員

破損してしまった場合、保護者に対してはどのように対応しているのでしょうか。

●松本教育総務課長

端末の取扱いについては、先生方においても授業の中で常々指導していただいている状況です。ただ、やはり児童生徒が使うということで、どうしても破損等が起こることがあります。学校内での破損については、一律に児童生徒に責任があるとは断定できないため、原則、弁償は求めないこととしています。

持ち帰って家庭内で破損してしまった場合については、個別に状況を確認していますが、基本的には学習に使う機器ということで、故意に壊すということは

ないものと考えており、現在のところ、弁償は求めないこととしています。

●猪原教育部理事

弁償は求めていませんが、しっかりと指導はしています。破損の原因を明確にして、本来は弁償となることを保護者に伝えながら、学校側にも責任があることを考慮して、弁償は求めないこととしています。

○橋本委員

歳出で、会計年度任用職員人件費という名称の事業が複数あり、それぞれ補正要求している項目の内容に違いがありますが、仕組みを詳しく教えてください。

●倉林社会教育課長

複数の事業になっているのは所属課別に分かれているものと認識していただいて結構です。記載されている職員数は、各課の採用人数です。

社会保険料という項目の有無は、勤務時間等によって社会保険への加入が必要な方と不要な方がいることによるものです。週20時間以上かつ2か月以上継続して雇用の予定があれば加入する必要があります。

社会教育課の例では、これまで1日6時間で週3日勤務の方が、週18時間ということで加入が不要だったのが、今回週4日になり、週24時間かつ今後も雇用を予定しているということで、加入が必要になりました。

税金や社会保険の面で扶養の範囲内で働くことを考えて、社会保険に加入しない方もいます。例えば図書館の職員19人についてはそのような方々であるため、社会保険料が計上されていません。

○高橋委員

債務負担行為の語学指導助手派遣委託料について、ALTの先生方の人数は何人の予定でしょうか。また、例年は何人程度でしょうか。

●和田小中一貫教育指導課長

今年度は7人です。ここ数年は毎年7人で推移しています。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●千葉教育部長

（1）令和6年第4回八潮市議会定例会会期及び日程について

会期は令和6年12月2日から19日までの18日間です。3日に一般質問の締め切り、5日に総括質疑の締め切りとなります。その後、10日に総括質疑の本会議、11日に総務文教常任委員会、16日、17日、18日の3日間で一般質問の本会議となります。

（2）令和6年10月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について

学務課で1件、教育総務課で1件でした。担当課長から説明します。

●山内教育部副部長兼学務課長

投書の内容は、「新設小学校の学区について、どのように決めたのか。駅前のマインループに居住しているが、大瀬小学校までは徒歩5分程度の距離にもかかわらず、新設校が開校すると、強制的に転校しなければならないと聞いた。どう考へてもおかしい。」というものでした。

これに対し、「新設小学校の通学区域については、令和3年度に、対象地域の町会長、学識経験者、大瀬小学校及び大曾根小学校の校長、P T A、学校運営協議会の代表者などで構成される「通学区域審議会」において5回の会議を開催し、地域全体の児童数の推移など、様々な視点から検討を重ね、さらには、パブリックコメントを実施して決定したものです。原則では、通学区域のとおりに就学していただくのですが、就学する学校を変更したい場合には、市教育委員会が設けている「八潮市就学指定校変更・区域外就学許可基準」に基づき、個別の状況に応じて対応します。」という内容で回答しました。

実際に、指定校変更の要望があった場合には、個別の事情を学務課の窓口で聞いて、柔軟な対応を行っているところです。以前、文部科学省から全国の教育委員会に対して、通学区域の変更の希望があった場合には配慮するよう通知が出ていますので、これに沿って対応しているところです。

●松本教育総務課長

投書の内容は、「先日小学校の体育館によくエアコンが付いたと説明を受けたが、酷暑で命に関わることもあるのに、体育館へのエアコン設置が大規模な市役所の建て替えよりも後回しになった理由はどのようなことか」というものでした。

この件については、業務の参考として対応しています。

体育館のエアコンについては、令和3年度から段階的に整備を進めており、今年度は八幡小学校、大曾根小学校、松之木小学校、大原小学校の4校に設置しました。10月31日が工期末で、正式に引き渡しを受けたところです。

来年度の整備予定は八條小学校、中川小学校、八條北小学校、柳之宮小学校で、この4校をもって全小中学校の体育館への設置が完了します。

今後も体育館への空調設備の設置を遅滞なく進めるとともに、各校において適切に空調設備を使用していただくことで、保護者のご理解をいただける環境を作りたいと考えています。

●猪原教育部理事

(1) 市内小中学校の様子について

1点目は、インフルエンザ等により学級閉鎖が出ています。寒暖差がありますので、引き続き、手洗い、うがい等の対応について、校長会でお願いしていきたいと考えています。

また、夕方暗くなるのが早くなってきたので、中学校だけではなく、小学校の下校時においても、不審者対応や交通安全について、校長会で注意喚起していきたいと考えています。

2点目は、毎年実施している小坂町への教職員派遣研修会を今年も実施しました。11月11日月曜日から15日金曜日まで、市内の5人の先生が参加しました。内訳は小学校3人、中学校2人、男性が4人、女性が1人でした。他市で5年以上経験して、本市で複数年勤務している先生の中で、学年主任等、学校の

中で推進的な役割を担っている先生に声をかけて、研修に参加してもらっています。

今回、私も1泊2日で参加しましたが、現地に到着した際に、学校の近くで掃除をしていた子供たちが、「八潮市の先生が来た」と言つていて驚きました。それくらい子供たちも毎年楽しみにしてくれていて、認知してくれているということで、改めて、先輩の先生方が築いてきたことを今後も引き継いでいかなくてはならないということを感じ、身が引き締まる気持ちでした。

研修後、参加した先生方と話す中で、やはりなかなかできない経験ができたということと、八潮市に還元したいということを発言していました。今後に期待したいです。

3点目は、八潮こども夢大学が開催されているところです。10月21日の聖徳大学を皮切りに、東海大学、国士館大学、ハリウッド大学院大学が終了し、この後は昭和大学が予定されています。12月19日木曜日16時に、八潮メセナにて修了報告会が開催される予定です。

4点目は、運動会、体育祭が終わりました。今回は春、秋に開催し、特に中学校の時は非常に涼しく、子供たち、先生方、保護者の方々にとって快適な気候でした。

また、小学校については延期が続き、委員の皆様にはご迷惑をおかけしてしまった、申し訳ありませんでした。順延になった学校もあれば、最初から平日に開催した学校もありました。その大きな理由としては、各学校の校庭の水はけ等の具合に差異があるため、それに対応できる日程にしたものと把握しています。最終的には、全ての学校が日を改めながら開催することができました。

5点目は、小中一貫教育八潮中学校ブロック研究発表会を11月29日金曜日に実施します。およそ1年前から、それぞれのブロックで研究してきているものですので、ぜひご覧になっていただければと存じます。

●柳町新設小学校準備室長

(1) 新設小学校建設工事起工式について

資料をご覧ください。

出席者は神主、八潮市、設計会社、施工会社です。あくまで式自体は、安全祈願ということで、施工者が行う行事と認識していただければと存じます。

当日は、委員の皆様においては、市役所の仮駐車場に10時10分に集合していただき、市の車で送迎します。式は10時45分から始まり、11時半までを目途としています。服装は平服ということで、男性の方はネクタイの着用をお願いします。細かい部分については、机上の封筒の資料をご覧いただければと存じます。

また、急遽出席が難しくなった場合はご連絡ください

●倉林社会教育課長

(1) 令和6年度青少年の主張大会結果について

資料をご覧ください。

11月9日土曜日、八潮メセナホールにおいて、青少年育成八潮市民会議との共催により、令和6年度青少年の主張大会を開催しました。

当日は、小学生10人、中学生5人、高校生4人の総勢19人に参加していました。各学校から選ばれた児童生徒が、日常生活を通じて日ごろ考えていることを発表しました。

結果は、小学生の部の最優秀賞は、大瀬小学校6年生の中島彩智さんの「私を変えたミュージカル」、優秀賞は、松之木小学校6年生の梅原和さんの「礼に始まり 礼に終わる」と大原小学校6年生の高橋柑奈さんの「平等な世界」。中学生の部の最優秀賞は、潮止中学校2年生の春日莉桜さんの「『出会い』という奇跡」、優秀賞は、八幡中学校2年生の小海嵐士さんの「少年の夢の物語」と大原中学校3年生の青柳美優さんの「多様性って何だろう」。高校生の部の最優秀賞は、八潮南高校1年生の曾根田愛麗さんの「夢に向かって」、優秀賞は、八潮南高校2年生の鈴木笑結さんの「無意識の思い込み」がそれぞれ受賞しました。

●高山教育部参事兼文化財保護課長

(1) 体験講座「籠づくり」の実施結果について

資料をご覧ください。

1 1月9日に開催した体験講座「籠づくり」では、われわれ日本人が、永く生活具や運搬具として愛用してきた「籠」について、その起源や歴史を解説した後、六つ目編みの籠作りに挑戦しました。参加者は11人でした。

六つ目編みは、数ある竹の編み方の中でも最もポピュラーな編み方ですが、規則性ある編み方に一部変化をつけなければならない難しさもあり、一心不乱に製作に取り組む参加者の姿が印象的でした。

「家でまた作成したい」「今度は違う編み方をしてみたい」といった参加者の声もあり、本講座が、参加者自身の学習活動へつなげる動機付けとなつたとともに、先人の知恵と工夫を感じ取る機会ともなつたのではないかと考えています。

（2）体験講座「わらで亀をつくる」の開催について

資料をご覧ください。

1 2月7日に開催を予定する体験講座「わらで亀をつくる」では、正月行事にかかせない正月飾りの製作体験を行います。

本講座は、本市と包括連携協定を締結する淑徳大学の学生が企画し、当日の講座運営も学生が主体となり実施する予定です。学生たちが、正月行事の起源や変遷について調べた成果を参加者の前で発表し、その後、外部講師指導のもと藁で縁起物の「亀」を作ります。定員は20人で、現在、申し込み受け付け中です。

わが国の長い歴史の中で少しずつ変化してきた正月行事の歴史を学べる良い機会と考えています。委員の皆様において、ご興味をお持ちでしたら、ぜひ参加していただきたくご案内します。

●山内教育部副部長兼学務課長

（1）学校給食について

1点目は、学校給食費の収納状況についてです。資料をご覧ください。

表面は、小学校の4月から10月までの収納額、未納額、収納率の一覧で、収納率は99.50%です。裏面は、中学校の一覧で、収納率は98.96%です。小中学校の合算が、収納率は99.34%、未納額は955,192円です。収納状況については、現在のところ、前年同様に順調に進んでいるところです。

2点目は、10月31日に学校給食の施設の衛生検査を実施しました。

検査の委託先は一般社団法人埼玉県食品衛生協会で、当日は、市教育委員会の栄養士も立会いをしました。対象は、給食センターと潮止小学校、大原中学校、潮止中学校でした。検査員からは、「良好に保たれている」とのコメントをいただいたところです。

3点目は、昨日、第2回学校給食審議会の結果を市議会議員の皆様に説明しました。議員全体説明会終了後に、17人の出席議員に説明しました。説明内容や資料は、前回の定例会で説明したものと同一です。

●和田小中一貫教育指導課長

(1) 令和6年10・11月の事件・事故報告について

合計4件で、内訳は、迷惑行為が1件、不審者情報が1件、交通事故が2件でした。

迷惑行為は、駅前公園のトイレへのいたずらで、スプレーで中と外に落書きをされました。防犯カメラの映像から中高生の疑いがあり、現在警察と連携しながら対応を進めているところです。

交通事故は2件とも車との接触でしたが、幸い怪我は全くなかったということでした。しかしながら、今後においても校長会等で交通事故に対する安全指導を繰り返し行っていきたいと考えています。

(2) 小中一貫教育について

1点目は、11月29日に小中一貫教育八潮中学校ブロック研究発表会が予定されています。資料をご覧ください。

午前の部が潮止小学校と松之木小学校、午後の部が八潮中学校での開催で、八潮中学校では全体会まで開催される予定です。

八潮中学校ブロックでは、八潮スタンダードに基づく魅力ある授業作りに取り組んでいます。特に、授業の最後に振り返りの時間を設けており、3校合同で、この振り返りに力を入れた指導方法の研究に取り組んでいます。研究発表の内容も教科の授業が中心の発表内容となっています。ご都合がよければぜひご覧いただければと存じます。

2点目は、八潮市全体の最近の状況です。

今年度、八潮市の小中一貫教育の推進検討部会の、計画部会とＩＣＴ部会では、企業と連携した総合学習の授業作りや、子供たちの主体的な学びを促す自由進度学習に取り組んでいます。自由進度学習は、単元の一部について子供たち自身が計画を立てて学習を進め、それを先生方がサポートするという新しい授業スタイルです。今後も定例会の中で、学校の取組みを紹介していきたいと考えています。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○木下委員

小坂町の学校については、以前、子供の人数がどんどん減っていたり、働き方改革であったり、抱えている問題が色々とあることを聞きました。それらの問題については、八潮市とは違った面が色々とあると思いますが、どのような状況であったか詳しく教えてください。

●猪原教育部理事

子供の人数については、全て単学級で、少ないところで10人台になっておりながらに減ってきていたりしている状況とのことでした。

働き方改革については、1人1台タブレット端末の活用については全国共通ですが、それ以上に良いと感じたのは、地域を巻き込んだ取組みがたくさんあることです。学校での活動は子供たちが主体でありながらも、ほぼ地域の方が関わっています。

例えば、運動会については、町に1つの小中一貫校なので、小中合同で開催し

ています。そこに地域の方も参加しており、町の運動会に学校が参加しているような状態になっています。

また、地域の方が子供たちの名前をしっかりと覚えていている一方、子供たちも大人に対して必ず自分から挨拶しており、地域に根ざした学校になっていると感じました。このため、本来は教員がやる仕事を地域で担っているところもありました。八潮市では同じようにはできないかもしれません、教員がやるべき仕事とそうでない仕事の振り分け等については、ヒントになる部分はあると感じました。

○加藤教育長職務代理者

事件・事故報告は、学校からの報告のみでしょうか。

●和田小中一貫教育指導課長

今回は学校からの報告のみです。警察や消防からの報告が入ることもあります。

○高橋委員

市民の声ボックスの新設小学校の学区についての投書の中で、「強制的に転校しなければならない」とありますが、このような話が広まっているのでしょうか。

●山内教育部副部長兼学務課長

強制的に転校させるということはありません。

教育委員会としては、基本的には決まった通学区域の学校に通ってもらう前提でクラス編成や施設整備を進めているところですが、通学時の交通安全面の心配等、事情がある場合には相談の上、指定校変更の対応をしています。

また、平成初期の頃に文部科学省から通知が出ており、希望する学校への通学については、全国の事例を参考にして柔軟に対応するよう求められていますので、強制的な対応はできないものと考えています。

○橋本委員

1点目は、市民の声ボックスの新設小学校の通学区域についての投書は1件だったのでしょうか。

2点目は、運動会の日程について、特に中川小学校の校庭は昔から雨天後に状態を戻すのが大変で、先生方においても時間を割いて対応しているものと思います。校庭の状態によって各学校の日程を合わせることが難しいということであれば、良い状態を保つことができるよう改善していただきたいと思います。

3点目は、小坂町のような地域の方と学校が一緒に活動していくような取組みと、小中一貫教育の研究で進めている子供たちが主体となって学習を進める取組みが上手く合わされば、今後より良い教育に繋がっていくと思います。先生方は、学習指導の部分については工夫をしながら、必死になって取り組んでくれているものと思います。それ以外の部分について、地域の方や保護者が協力できるところは協力するというような取組みが広がれば、先生方の負担を軽減することができると思います。

●山内教育部副部長兼学務課長

市民の声ボックスについては、毎月、投書があったものを全て1件1件報告しているものです。他にも別の形で要望を受けることはありますが、今回、投書としていただいたのは1件です。

●松本教育総務課長

中川小学校の校庭の水はけが悪いという点は、これまでご指摘を受けております。他の学校と比較すると校庭が南北に長い形状となっており、特有の問題があるかもしれませんと考えております。

先生方にも、具体的にどのような状況の時にどのような障害があるのかということをお聞きして、対応を検討していきたいと考えています。

●猪原教育部理事

小坂町の事例を見て、地域の方との連携については、学校側からお願いするだけでは続かないと感じています。

地域の方も、子供たちのためにできることをやりたいという気持ちで、自分の時間を削って活動してくれています。自分の子供がいない方の場合は、自分が手伝うことで未来ある子供たちの成長の手助けになるということであったり、子

供たちの笑顔が見られたり、感謝してもらえたというところで喜びになっています。

そのようなことを踏まえて、学校としては、子供たちと地域の方が、学校の活動を介してお互いの生活がより良いものになるように仕掛けていくことが必要であると考えています。

○木下委員

小中一貫教育の研究発表会について、公開授業を実施することによって、先生方においてもすごく研究されると思いますし、授業のスキルアップに繋がるものと思います。小学校の公開授業は3、4クラスで実施することですが、内容や授業者については、どのように決めているのでしょうか。希望して担当する先生もいるのでしょうか。

●和田小中一貫教育指導課長

授業者の決め方は学校によって様々です。例えば八潮中学校では全教科を公開することとしており、各教科の代表者をそれぞれ決めています。潮止小学校と松之木小学校での今回の具体的な決め方は確認していませんが、概ね小学校においては、校内の研究授業や公開授業の年間スケジュールを組み、それぞれの回の担当のクラスを大まかに割り振る等、計画的に決めています。

授業者については、教科の中心になっている方や研究を推進している方等が担うケースが多いところですが、最近では若い方が任されるケースもよく見られています。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。